

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和6年4月9日(火) (午前・午後) 2時00分 開会 (午前・午後) 4時30分 閉会
開 催 場 所	おにクル2階 多目的室C2
議 長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出 席 者	【評価委員】 河合将生氏 (NPO関係者)、藤原直樹氏 (学識経験者)、入江陽子氏 (NPO関係者)、高田和子氏 (地域活動関係者)、板倉幸司氏 (公募市民) (5人) 【事務局】 向田共創推進課長、吉田共創推進課市民活動グループ長、松井 (3人) 【担当課】 文化振興課、障害福祉課、危機管理課、環境政策課 (4課)
開 催 形 態	原則公開 (傍聴2名)
議 題 (案 件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配 布 資 料	・第2回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・令和6年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・応募関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ
河合委員長	公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明 傍聴者入室 ----- プレゼンテーション開始 -----
団体	【自由テーマ型】 型破りなアートプロジェクト 型破りなアートプロジェクトユニット
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・ 作品の評価をする人はどんな人を想定しているのか。 →近隣の市町村でアートに取り組んでいる方々、美術作家などと連携していきたい。
藤原副委員長	・ 今回の取組を今後2～3年どう育てていきたいのかというビジョンがあるか？ →障害福祉のイベントでは出展料を取らない風潮があるが、それを打破したい。状況を見ながら1年目は出展料を無料、2年目は500円などといった設定をしていきたい。また、障害者が行う創作活動の認知度が低いので、その周知をしていきたい。
板倉委員	・ 主催者側の体制はどういった感じか。 →5事業所が関わっており、1事業所3～4名くらい参加予定。
団体	【自由テーマ型】 芝のみ 盆踊り 茨木コモンズ
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
藤原副委員長	・ 地域の盆踊りとの違いは。 →地域の盆踊りは閉鎖的なイメージがあると考えている。その地域のこどもでないと参加しにくかったものを誰でも参加できるようにしている。また、DJ とのコラボなど新しい要素があることで入りやすい雰囲気になっている。
入江委員	・ 3回目の開催になった、市民の声や運営の中での意見は。 →「面白かった」とかなり好評で、開催を期待されていると感じる。

団体	【連携型】 おにクル1周年を市民で祝っちゃおう！ Locaco Project
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・イベントの具体性はどの程度固まっている？つくっていくプロセスに意味がある面もある。 →これから詳細のプログラムを決めていく。それぞれの団体がやっていることをそのままやるのではなく、それぞれの経験を活かしながら、新たな活動を実施していけるよう工夫したい。
入江委員	・当日の人数よりもプロセス、どういう繋がりがあったかに意味がある事業だと感じた。 →繋がりという面では、団体がイベントをしているときに声をかけて巻き込んでいくなど、敷居を低くして新たなプレイヤーの参加を促していきたい。
	傍聴者退出
団体	【自由テーマ型】 いばらき芝生フェスタ 2024 シゲイズム・ヒゲノミクス・AquaNote 共同体
関連課	【関連課 意見】
入江委員	【質疑応答】 ・昨年実施の際の意見としてはどんなものがあったか。 →概ね良かったという声。当団体としても普段と異なる活動なので、団体としての活動の幅が広がった。これからもチャレンジができそう。
藤原副委員長	・フォトイベントとアカペラの連携や、一体性のイメージはあるのか？ →あまり連携するイメージはない。それぞれが同じスペースでやっている面白さもあるのではないかと考えている。
団体	【連携型】 年齢や障がいの有無に関わらず、垣根なくどなたでも鑑賞いただけるバリアフリーコンサート企画 ohana
関連課	【関連課 意見】

河合委員長	【質疑応答】 ・企画内容に至るプロセスも連携型らしくてよい。二人の強みとは？ →イベントをすると ohana を目的に来ていただけるので、それを通じて福祉を知りきっかけになる。
入江委員	・普段来られない人にどのようにアプローチしたのかなども含めて事業報告をしていただければ。
団体	【自由テーマ型】 歴史から見える新時代の防災・減災～激甚化する自然災害に備えて～ 特定非営利活動法人 和の心
関連課	【関連課 意見】
板倉委員	【質疑応答】 ・集客が450名を想定しているが、規模感的にアーカイブ等も検討いただければ。 →検討する。茨木市の防災訓練の日に何かイベントも出来たらと考えている。
藤原副委員長	・連携型事業での申請だが、多様な主体との連携というより磯田先生との連携、個人との連携に見えかねないのでは。 →確かにそんな部分もあるが、あくまでセンターとの連携と捉えている。
河合委員長	・何か共同の報告書のような展開になると、変わってくるかと。オープンスペース等でパネル展示やハザードマップなどの掲示等も含めて、表現していただけると良い。
団体	【自由テーマ型】 いばらきアップサイクルプロジェクト いばらきアップサイクルプロジェクト
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・市民に再現をするときに、WSの具体的な内容がわかると伝わりやすいと思う。 →他の団体で使えなくなった原材料（ぐるりの服など）を使用して、事業を行う。 例えば本であれば、ただ循環するだけでなく、手放す際に本のおすすめポイントを書いておいてもらうことで世界にひとつだけの本にするなどといったアップサイクルを行う。
入江委員	・WSは、メンバーで意見を出し合っているのか。 →たくさんの市民団体のグループラインにて今回の事業をやりたいことを募ったり、アドバイスを頂いたりしている。

団体	【自由テーマ型】 無農薬野菜作り 期間限定ジャガイモの栽培と収穫祭・サツマイモの栽培と収穫祭 NPO 法人地球環境再生機構
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・ 30人は、同じ人が参加しているということ？ →基本は正会員である。作物ごとにオーナーを決めて参加いただく。
河合委員長	・ 公益性という意味では、正会員を集めるための取組は補助金交付対象外となるので気を付けてほしい。 →承知した。
河合委員長	他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。
事務局	事務局から連絡事項はないか。 次回は、4月11日、午後2時から、おにクル2階多目的室C2で開催予定。
河合委員長	以上で、第2回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。